

大学院単位認定

この公開講座・セミナー・シンポジウム等は大学院医学研究科の単位認定対象となっております。単位認定の条件や対象科目等は下記をご確認ください。

単位認定条件

大学院生の方は、受講後、「出席票」を教務課(大学院担当)までご提出ください。
出席票は、履修管理システムからダウンロードすることができます。

【履修管理システム】

博士課程 : <http://lms.juntendo.ac.jp/>

修士課程 : <http://mst.juntendo.ac.jp/>

認定科目

【博士課程】

Current Topics ※必修「大学院特別講義」に振り替えることはできません。

【修士課程(医科学コース)】

選択科目「**大学院セミナー**」

Online Seminar

第30回本郷内分泌代謝Update

日時 令和2年10月23日(金) 19:30～20:30

座長

順天堂大学大学院 代謝内分泌内科学
教授 綿田 裕孝 先生

特別講演

「肥満2型糖尿病の治療戦略
-内科治療と減量・代謝改善手術-」

演者：東邦大学医療センター佐倉病院
糖尿病・内分泌・代謝センター

准教授 齋木 厚人 先生

参加申込：次のいずれかの方法でご登録ください

→開催が近くなりましたら参加者用のリンク先URLを返送いたします



① 登録用QRコードから、登録フォームにご記入ください

② <https://forms.gle/rrMXgBCZJdkS2e7e6>

※参加登録用QRコード

PDF案内状をお持ちの方は上記のURLをクリックしてもアクセスできます

代表世話人：綿田裕孝

共催：順天堂大学医学部代謝内分泌学同門会
順天堂大学医学部 内科・代謝内分泌学
順天堂大学大学院医学研究科
順天堂糖尿病療養指導研究会



大学院公開講座のHP

<講演抄録>

肥満者、特にBMI35以上の高度肥満患者は食育環境、独特の性格特徴、精神疾患の合併、不適切なストレス対応、食行動異常、不適切な認知など複合的要因により内科治療の効果は限られ、減量できてもリバウンドする確率が高かった。このため欧米では広く減量手術が行われ、米国では年間20万件、全世界で50万件を超える手術が行われている。近年 肥満2型糖尿病患者に対しても術後体重の減少とは独立した糖代謝改善が認められ、Metabolic surgery（減量・代謝改善手術）とも呼ばれるようになり、米国糖尿病学会は2017年のガイドラインでMetabolic surgeryとして、BMI30（アジア人 27.5）以上の患者に推奨し、2017年にロンドンで開催されたThe 2nd Diabetes Surgery Summit (DSS-II)でも同様の治療アルゴリズムが公表された。

本邦でも減量・代謝改善手術の有効性が平成28、29年度厚生労働科学研究費補助金（難治性疾患政策研究事業）での「食欲中枢異常による難治性高度肥満症の実態調査」のための研究班(龍野班)で明らかにされ、現在 日本糖尿病学会・日本肥満学会・日本肥満症治療学会の3学会は合同で「日本人の肥満2型糖尿病患者に対する減量・代謝改善手術のためのガイドラインを検討する日本糖尿病学会・日本肥満学会・日本肥満症治療学会合同委員会」を設置し、2021年春でのガイドラインの公表に向けて準備が進行中である。本講演では統合的肥満症治療戦略における減量・代謝改善手術の位置づけ並びにその減量効果を超えた代謝改善作用の分子機構についてもお話をしたい。

学歴及び職歴

- 1998（平成10）年 3月 東邦大学医学部 卒業
- 1998（平成10）年 4月 東邦大学佐倉病院 内科 研修医
- 2001（平成13）年 4月 東京歯科大学市川総合病院 内科 助手
- 2002（平成14）年10月 東邦大学佐倉病院 糖尿病・内分泌・代謝センター 研究生
- 2006（平成18）年10月 医学博士取得
- 2007（平成19）年10月 スウェーデン ヨーテボリ大学
Cardiovascular and Metabolic Research
- 2009（平成21）年 4月 東邦大学佐倉病院 糖尿病・内分泌・代謝センター 助教
- 2011（平成23）年 7月 東邦大学佐倉病院 糖尿病・内分泌・代謝センター 講師
- 2017（平成29）年 3月 東邦大学佐倉病院 糖尿病・内分泌・代謝センター 准教授

学会活動（委員など）：

- 1) 日本内科学会：認定医、総合内科専門医
- 2) 日本糖尿病学会：学術評議員
- 3) 日本動脈硬化学会：評議員、腎動脈・末梢動脈硬化部会員、査読委員
- 4) 日本肥満学会：専門医、指導医、専門医カリキュラム委員、生活習慣病改善指導士試験問題作成委員、保険委員、臨床研究委員、肥満症治療薬開発に関するWG委員
- 5) 日本肥満症治療学会：評議員、栄養部会副委員長、教育委員会副委員長、メンタルヘルス部会副委員長、プログラム委員、データベース委員、医療安全対策委員、外科治療ガイドライン策定委員
- 6) 日本臨床栄養学会：評議員、管理栄養士病棟配置推進委員